

高田松原津波復興祈念公園内における

自動運転走行 実証実験

誰でも
無料で
利用できます

運行日 2023年2月1日~3月5日
運休日 月曜日



自動運転走行により、
環境に配慮した小型EVバスが
園内の施設を巡ります。
土日祝日には、パークガイドが
同乗する便も運行し、
震災の教訓や
体験を学ぶことができます。



平日ダイヤ(全便予約不要)	西側ルート							東側ルート		
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	
道の駅高田松原 発	9:00	9:40	11:30	13:00	14:50	15:30	16:10	道の駅高田松原 発	10:20	13:40
奇跡の一本松	9:05	9:45	11:35	13:05	14:55	15:35	16:15	タピック45	10:30	13:50
気仙中学校入口	9:11	9:51	11:41	13:11	15:01	15:41	16:21	松原大橋	10:33	13:53
奇跡の一本松	9:15	9:55	11:45	13:15	15:05	15:45	16:25	最上堂橋	10:37	13:57
道の駅高田松原 着	9:22	10:02	11:52	13:22	15:12	15:52	16:32	下宿定住促進住宅	10:52	14:12
								最上堂橋	10:57	14:17
								松原大橋	11:01	14:21
								タピック45	11:04	14:24
								道の駅高田松原 着	11:15	14:35

土日祝日ダイヤ	1	2	3
道の駅高田松原 発	9:00	9:40	13:40
奇跡の一本松	9:05	9:45	13:45
気仙中学校入口	9:11	9:51	13:51
奇跡の一本松	9:15	9:55	13:55
道の駅高田松原 着	9:22	10:02	14:02

パークガイド付きルート(要事前予約)

	1	2
道の駅高田松原(発着)▶ ↑ 奇跡の一本松▶ ↑ 気仙中学校入口 (所要時間60分)	10:20 発 11:20 着	14:20 発 15:20 着
道の駅高田松原(発着)▶ ↑ 下宿定住促進住宅 (所要時間60分)	11:30 発 12:30 着	15:30 発 16:30 着

予約情報

土日祝日ダイヤの「パークガイド付きルート」乗車を希望される方は、左の二次元バーコードからご予約をお願いします。土日祝日は、道の駅高田松原受付でのご予約も可能です。乗車される方は、出発5分前までにお越しください。

乗車に当たっての注意事項

●乗車条件として、3歳以上の方となります。(小学生以下のお子様は、必ず保護者または成人の方と同乗が必要となります。) ●必ずシートベルトを着用し、係員の指示があるまで外さないでください。 ●走行中システム対応者への操作の妨げとなる行為は、行わないでください。 ●発熱など風邪の症状がある方、体調のすぐれない方のご乗車はご遠慮ください。 ●車内では、感染防止の為、マスクの着用をお願いします。 上記注意事項を遵守せずに起きた事故やトラブルにおいて、責任を負いかねますので予めご了承ください。

自動運転に関するアンケート調査

今後の参考のため、自動運転に関する皆様のお考えをお聞かせください。乗車されなかった方々も、ぜひご回答ください。回答時間は3~5分程度です。ご協力をお願いします。



自動運転 運行ルート上の 見どころ



奇跡の一本松



かつて高田松原にあった約7万本の松林の中で、東日本大震災の津波に耐えて奇跡的に残った一本の松があります。その松は、大津波に耐えたその姿から「奇跡の一本松」と呼ばれ、復興への「希望の象徴」となりました。樹齢173年、高さ27.5m、幹の直径約90cmの奇跡の一本松は、残念ながら2012年5月に枯死が確認されましたが、復興のシンボルとして後世に受け継ぐために保存整備を行い、現在はモニュメントとして昔と同じ場所に立っています。



気仙中学校

奇跡の一本松や道の駅高田松原がある気仙町にあった中学校です。場所は気仙川の河口付近にあったため、津波が堤防を越えてからわずか数分で校舎屋上近くまで津波が達しました。しかし、生徒は津波が到達する前に高台へ避難していたため、全員無事でした。震災遺構として残された気仙中学校は、日頃の学習と訓練の結果、犠牲となった方が一人もいなかったとして「防災教育の重要性を伝える遺構」として位置づけられました。



タピック45 (旧道の駅高田松原)

タピック45は高田松原津波復興祈念公園に面する国道45号沿いに整備された、岩手県内第2号の道の駅であり、高田松原物産館という産直施設も併設されていたことから、まさに観光の中心拠点でした。タピック45の内部に入ると、正面の大きな壁が崩れていることがわかります。これは耐力壁といい、地震をものともしない壁でしたが、大津波によって破壊されてしまいました。今も破壊された姿のまま残されており、タピック45は「津波の威力を伝える遺構」として残されています。



下宿定住促進住宅



下宿定住促進住宅は、高田松原津波復興祈念公園が面している国道45号沿いの東側にある5階建ての市営住宅です。下宿定住促進住宅を襲った津波の高さは14.5m。津波は4階部分までを完全に水没させ、5階の床面まで押し寄せました。こちらは現在立ち入ることができませんが、「津波の高さを伝える遺構」として保存されています。

使用する車両について

自動運転車両：GSM8

走行速度 ▶ 時速20km未満 グリーンスローモビリティ車両

乗員 ▶ 9名 (運転席・助手席含む)

自動運転レベル ▶ レベル2 (ハンズオフ)

※豆知識：レベル3はアイズオフ、レベル4はブレインオフと呼ばれる。



LIDAR×8



カメラ



主な装備品

LIDAR×8、
各種カメラ(物体×7、
遠隔監視×7、信号用×1)
IMU(慣性計測装置)、GNSS(衛星測位システム)など

特徴

- 走行は、各種車両に搭載されている、LiDARを中心に、常に自車位置や周辺環境を認識しながら、自動運転用の高精度3次元地図上を走行するように設計されている。
- LiDARとは、レーザー光などを照射して、その反射光の情報をもとに対象物までの距離や対象物の形などを計測する技術です。
- 高精度3次元地図データには、予め取得された周辺環境データおよび、走行経路、停止線、横断歩道などの位置や走行速度なども記載されており、車両が安全に走行する為に必要な情報を持っている。
- 障害物は、このLiDARを中心に確認し、必要な制御(減速や停止)を車両に指示している。
- なお、本実証では、障害物などを認識して停止するなど実施しているが、安全の為に自動で回避する行為はしておらず、その場合は同乗したドライバーが介入して走行する。

実施
主体

陸前高田市

参加
企業

復建調査設計(株) / (一社) 陸前高田市観光物産協会 /
(一社) 陸前高田グリーンスローモビリティ / アイサンテクノロジー(株) /
(株) ティアフォー / 損害保険ジャパン(株) / KDDI(株)

問合せ先

(実証事業に関する事) ▶ 陸前高田市 政策推進室
TEL:0192-54-2111(内線331) 担当:松木
(運行や利用に関する事) ▶ アイサンテクノロジー(株)
TEL:070-2225-4619 担当:山崎
(予約に関する事) ▶ 陸前高田市観光物産協会
TEL:0192-54-5011